

Ryukoku University



POの皆様に期待すること

深尾 昌峰

- 課題が的確に把握され、構造として捉えているか
- その課題を取り扱う専門性を有しているか、もしくは専門性を有している人や組織が深く関わっているか
- その課題を解決もしくは緩和させていくために提示されている方法論（仮説）は的確か
- その方法論を実施する実行団体とのネットワークや関係性があるか
- 実行団体を的確に選考できるか
- 実行団体の伴走支援が的確に行うことができ、所期の成果の達成に繋がっていけるか

- 資金分配団体の役割は「資金を分配すること」ではありません
ましてやゴールは「実行団体を応援すること」でもありません。
- 資金分配団体の役割は、資金分配団体申請書で取り上げた課題に関して更なる情報収集を行い、より深く構造化し、いくつかの仮説を持ち、どういう担い手がより妥当なのか
 - 資金を分配するという、各プロセスにおいて「社会を変える」意識
- 審査委員会で何を審査するのか
 - ーコンプライアンス的側面：重要（基本的な資質）
 - ー何が足りなくて、どうやったらアウトカムに到達できるのか
 - ー伴走支援の青写真・戦略
 - ー単に「コンプライアンス」だけではないということ →成果にコミットメントする責任

- 休眠預金制度はご存知のように法施行後5年の時点で「幅広く見直す」
- 資金分配量・社会変革度のバランス（アウトカム志向）
- 政治がどう変化していこうが、市民社会にとって必要な制度
- 制度設計では500億程度の分配が可能（段階的分配の最中）

- 資金分配団体が非常に重要な役割を担う
- 「見極める力」：実行団体の「現在地」>冷静に
- 情報収集力とアレンジ力
- 時には一緒に「闘う」ことも チャレンジングとは：摩擦

- 休眠預金を「テコに」
 - ーPOの存在感と有用性を証明してほしい
 - ー同時に資源の掘り起こし、休眠預金だけに依存しない構造をつくり出す



**RYUKOKU
UNIVERSITY**